

住 宅 困 窮 理 由	要 因 (該当事項の空欄に○印を付ける。)					特に住宅を必要とする理由がある場合は、それを詳細に記入のこと。		
	1 住宅以外の建物又は場所に居住している。							
	2 老朽その他の事由により保安上危険又は衛生上有害な状態にある住宅に居住している。							
	3 他の世帯と同居している(間借り及び雑居を含む。)							
	4 同居しようとする親族(婚姻の届けをしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にあるものを含む。)があるが、分散して生活している。							
	5 婚姻による需要							
	6 現在の住宅の規模及び間取と世帯構成の関係から衛生上又は風紀上不適当な居住状態にある。							
	7 立退き要求を受けているが立退き先がない(関係書類提出)。							
	8 住宅がないため勤務場所から著しく遠隔地に居住している。							
	9 毎月の収入に比較して、著しく過重な窮賃の支払をしている。							
10 その他の理由								
現 在 の 状 況	居住の区分(該当のものに○印)	持ち家、借家(公社住宅、公団住宅、他の公営住宅、民営)、間借・下宿、社宅・寮、その他()						
	使 用 状 況	間 数 及 び 畳 数	1 箇 月 家 賃	居 住 年 数	住 宅 に 入 居 申 し 込 ん だ 回 数	環 境	備 考	
		室 畳	円		回			
(記入上の注意) 「同居以外の扶養家族」欄は、控除対象配偶者及び扶養親族で申込住宅へ同居しないものを記入すること。					受 付 No			